

無人駅で賑わいの創出

特定非営利活動法人
中郷区まちづくり振興会 新潟県 上越市



1 社会資本の概要

二本木駅は、明治44年に国有鉄道の駅として開業し、昭和62年に民営化に伴いJR東日本・JR貨物の駅となりました。平成27年に北陸新幹線長野駅-金沢駅間延伸開業に伴い、えちごトキめき鉄道へ移管されました。二本木駅は、無人駅ですが当団体が委託して、構内清掃などの駅運営を実施しています。

令和元年には、駅舎やホーム上屋などの7カ所が登録有形文化財に登録されるなど、当地区の歴史を残す施設であり、新潟県内の鉄道駅として唯一、スイッチバック式のホームが残る駅です。



二本木駅



二本木駅スイッチバック



二本木駅舎 ホーム

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成27年にJR東日本からえちごトキめき鉄道へ移管・開業を契機に、地域の新たな観光資源とする取組を開始しました。待合室を改修し、喫茶「さとまる一む」を開業。「さとまる一む」は、365日営業を行い、二本木駅来訪者のおもてなしや地域の憩いの場となっています。

また、平成31年から二本木駅が無人化となり、当

団体がえちごトキめき鉄道から駅業務を委託しており、構内清掃・美化活動、駅運営を行っていることや、上越市が管理する駅前駐車場トイレの清掃作業を行うなど、持続可能な取組を行っていることや、地域の活動団体と連携して「二本木駅鉄道まつり」やリゾート列車「雪月花」運行時に乗客のおもてなしをするなど、交流人口拡大に寄与しています。



喫茶「さとまる一む」の様子



スイッチバック市の開催状況



二本木駅の美化活動

3 活動の成果や波及効果等

「さとまる一む」は、地域の方が店員となることで、安心感のある地元の喫茶店として、二本木駅来訪者や地元住民がリピート客が増えている。

「二本木駅スイッチバック市の開催」や地域の活動団体と連携し、リゾート列車「雪月花」運行時の乗客おもてなし等の取組により、駅を訪れる方の人数は年間4,000人以上となり、活動を始めた8年前から約1,000人以上増えました。



喫茶「さとまる一む」の接客状況



鉄道まつりの開催状況



リゾート列車「雪月花」のお出迎え



リゾート列車「雪月花」乗客へのおもてなし

喜びの声



受賞者

特定非営利活動法人
中郷区まちづくり振興会
理事長
岡田 龍一

コメント

平成27年から地域の魅力ある場所「二本木駅」を活用してきて事業が、認めていただいたことに感謝いたします。それも関係者・地域の皆さんのおかげだと思います。今後も、更なる魅力あるまちづくりを目指し継続して活動を続けていき、そして、多くの皆さんの憩いの場所、利用しやすい駅でお越しをお待ちしております。

活動の内容

- 喫茶「さとまる一む」の運営
- 二本木駅スイッチバック市の開催
- 地域の活動団体と連携した「雪月花」運行時の乗客おもてなしなど

活動の経歴

- 平成27年 JRからえちごトキめき鉄道(株)に変更駅を活用した開業イベント等を開始
- 平成28年 リゾート列車「雪月花」運行開始に伴いおもてなし・物販販売開始 月2喫茶営業
- 令和元年 えちごトキめき鉄道(株)より業務委託開始 それに伴い喫茶「さとまる一む」365日営業開始
- 令和 5年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞

所在地 新潟県上越市中郷区板橋552

活動主体及び連絡先 特定非営利活動法人 中郷区まちづくり振興会
TEL:0255-74-2455

対象となる社会資本 二本木駅
※管理者 えちごトキめき鉄道(株)

